



Restaffine の理念

フィッシングロッドの特質は、時代と共にタックル、メソッド、テクニックとロッドを構成する素材・パーツの革新と共に大きく変わってきました。しかし、昔も今も、また世界中どこでもフィッシングロッドの本質である「ゲームフィッシュを釣る目的手段」として、ロッドに求められる本来の不可欠要素に変わりはありません。キャスト、バイト、フッキング、ファイティング、ランディング。一連の作業の中で各時点の複雑な環境にフィッシャーマンの個性的手法と好みが絡み合います。Restaffine のロッド作りは、力でなく技で（キャスト）―違和感無く自然に（バイト）―相手に与えるショックを極力小さく（フッキング）―相手の力を真っ向から受けるのではなく 力の方向を変えて（ファイティング）―相手が極めて元気なうちに（ランディング）、の理念に基づいてデザインしています。

Boron とは？

1970 年代半ばに日本で初めて発表された Boron ロッドは重く、硬すぎてすぐに姿を消し、また優れた特性を持ち、今でもプレミアが付くほど支持された銘竿は Boron 素材の高価すぎる故に作られなくなった事から、Boron は金属で強いが、重いし高い…等々の間違ったイメージが全般的に広まって現在に至ります。その後、Boron を使用したロッドがいろいろリリースされていますが、そのほとんどは部分的に Boron を使用したものでした。Restaffine は Boron 繊維の伸縮性能のたぐいまれな特性を生かし、Boron 繊維をロッドの全長に先端からバットまで、切れ目なく通したー Full Length Boron ロッドーを作り続けています。

Restaffine の Full Length Boron ロッドを手にしたほとんどの方が「Full Length Boron でこんなに軽いの？」と驚かれます。

Boron は非常に強い高価な材料ですが、金属繊維ですから質量的にはカーボンよりも重く、ロッドにしめる含有%が多ければ良いロッドになるか?というところではありません。使い方を間違えばただ硬い、重いロッドになってしまう、Carbon、グラス等との適正なパターンバランスを得て初めてその特質を発揮します。また Tip 直径 0.5 mm にも満たない極細マンドリルに Boron 繊維を巻きつける特殊技法も Full Length Boron ブランク製作の難しさです。



Boron ロッドに関して Restaffine が Full Length にこだわるのは、ロッドの縦方向に Boron 繊維の比類ない特質を求めるもので、ブランクスの手元に来るほどに構成素材のプライ数〔鉄芯に巻きつける回数〕が多重構造になる「手元重心多重構造」の肉厚シャフトが、持ち重りの少ない粘りあるシャフトを生み出し「どうして Full Boron でこんなに軽いの？」と不思議がられる所以です。

レスタボロンのデザインコンセプトの中で、ロッドの「パワー」は決して「硬さ」ではありません。Carbon ロッドのパワーの限界が「それ以上曲がらない強さ」とでも表現するならば、レスタボロンのパワーのコンセプトは「曲がりの限界に近づいても、さらに一瞬曲がって、尚瞬間に戻る」Boron の粘り特質を最大限に引き出す事にあります。

試しに XUL 仕様の Boron ロッドティップを少し（5cm ～ 10cm ほど）押さえてやると抵抗少なくソフトに曲がりますが、さらに少し曲げ込んでやると、ある一点から Boron 繊維の張りが生まれ、ロッドの曲がりが止まり始める事が感じられます。この点から、その後さらに加えられる荷重に応じて俊敏に、パワフルにしかもやさしく、Boron ブランクスの粘り特質が発揮されるのがおわかりいただけます。



【 Full Length Boron の特性 】

ブランクス先端からバットエンドまで、切れ目なく贅沢に Boron 繊維を通したブランクス。その特化した特性をフルに生かしたブランクス特性。

「Boron」が誤解を受けるのは、Boron の剛性がロッドの強さに加わると、無意識の期待感からなのかもしれません。これは大きな間違いで、Carbon ロッドと同等パワーの Full Length Boron ロッドを作る場合、Boron 相当の Carbon を抜いてやらないと、ロッドは強くなりすぎます。すなわち Boron ロッドでは Carbon 材料が減ってその分 Carbon 素材の特性が Boron 素材の特性に置き換わった事になります。

Boron 素材は金属で Carbon 素材とは大きく違った特性を持っており、伸縮に対してとてもないパワーを持っていますが、ロッドが空荷重でブランクスが曲がらない状態ではその強さは現れておらず 空荷重では Carbon のみのロッドより幾分かソフトにさえ感じられます。

ひとたび曲がり始めると、ロッド設計によって違いがありますが、空荷重の真っ直ぐな状態からロッドティップが 10cm ほど曲がり始めると、伸縮に対して生まれたパワーは驚くべき粘りを生じ、ベンディングが大きくなるにつれてその粘りのパワーは大きくなります。

ウエイトの軽いジグをキャストしたい時等、Carbon 素材のみのロッドよりもロッドにウエイトがのり、キャスト が非常に心地よいのも、通常より少々重い目のジグを使いたい時にも空荷重で感じていた以上のウエイトを楽に使用出来るのも、シャクリ後のロッドのリアクション速度が速すぎず、遅すぎず、フッキングに際しても弾きが少なく、かといってソフト過ぎず的確なフックセットを楽にしてくれ、尚かつ不意のモンスターを相手にした時にもロッドをぐっと維持して耐えているだけで、Boron パワーがモンスターの走りを抑え無理のないランディングに導いてくれます。

ロッドハンドルからロッドエンドまで全体をベンディングパワーに設定した New Bending Concept.

Full Length Boron の強靱な粘りと、フルベンディングシステムが生み出すパフォーマンスは、手に取るようにわかる超高感度。予想外のモンスター相手の時にも、走りをじっと耐えているだけで、やがてロッドがモンスターを寄せて来てくれる…等々。これまでにない新しい快釣感を体感させてくれます。

